**大阪府入札監視等委員会 入札監視第1部会 平成30年度第3回定例会議　議事概要**

１　開催日時　　平成31年2月22日（金）午前9時45分から午後12時

２　場所　　大阪赤十字会館4階 401会議室

３　出席委員　　5名

４　審議対象期間　　平成30年8月1日から平成30年11月30日まで

５　会議の概要　　審議対象期間中の、入札方式別の発注案件の状況、入札参加停止措置等の状況、談合情報等の処理状況について事務局、担当課から内容の説明を求めた上で審議を行った。

また、大阪府が契約締結した建設工事（予定価格250万円を超えるもの）、測量・建設コンサルタント等業務（予定価格100万円を超えるもの）、委託役務業務（予定価格100万円（物件の借入れについては、80万円）を超えるもの）、物品購入（予定価格160万円を超えるもの）総契約件数1,165件の中から次の6件を委員が抽出し、事案ごとに担当の発注部局から入札・契約の過程及び内容の説明を求めた上で審議を行った。

６　審議の結果　　これらの処理状況・事案は概ね適正であると認める。

７　抽出事案についての委員からの質問と回答　　別添のとおり

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 入 札 方 式 | | 案　　　件　　　名 | 契約金額(円) |
| 建設工事 | 一般競争 | 寝屋川流域下水道 鴻池水みらいセンター 水処理施設棟アスベスト除去工事 | 62,262,000 |
| 一般競争 | 大和川下流流域下水道 今池水みらいセンター 計装設備補修工事 | 15,660,000 |
| 一般競争 | 堀河ダム整備（30-2）工事 | 5,130,000 |
| 委託役務業　務 | 一般競争 | 堺泉北港 堺3区 堺10・13・14号上屋燻蒸設備点検整備業務 | 11,672,640 |
| 指名競争 | 主要地方道 岸和田牛滝山貝塚線外 産業廃棄物処理業務（単価契約）（H30・H31 岸和田土木事務所） | 6,652,800 |
| 物品購入 | 一般競争 | 空気呼吸器用空気ボンベの購入 | 3,807,972 |

（抽出事案一覧）

（別 添）

| 質問 | 回答 |
| --- | --- |
| **【寝屋川流域下水道 鴻池水みらいセンター 水処理施設棟アスベスト除去工事】** |  |
| 入札金額にばらつきが生じているが、どのような理由が考えられるのか。 | 本件は、下水道施設という特殊な建築物の壁や天井等のアスベストを除去する工事であるが、任意仮設の足場を外注にするなどの取り扱いの差によって、入札金額がばらついたものと考えている。また、予定価格の積算の参考として見積りを徴取しているが、提出者が少なかったことも要因と考えている。 |
| 予定価格を参考見積りにより積算しているとのことだが、最低制限価格より低い入札金額の者を落札者とすることはできなかったのか。 | 本件の工事規模では最低制限価格制度を採用しており、公共工事の品質確保及びダンピング防止のため一定金額未満の入札を失格としている。また、予定価格の参考見積りの徴取については、条件を満たす業者から提出を受けており、積算としては適切であったと考えている。 |
| 今後に向けて改善点はあるか。 | 今回は、入札参加者が施工上のリスクをそれぞれ判断した結果、入札金額にばらつきが生じたため、現場状況や仕様内容を今以上に明確にすることや、より多くの業者から予定価格の参考見積りの提出が得られるような徴取方法について検討したいと考えている。 |
| **【大和川下流流域下水道 今池水みらいセンター 計装設備補修工事】** |  |
| 応札者が少なかったのはなぜか。 | 本件は、工事費に占める機器購入費の割合が高く、受注者の企業努力となる部分が少ないことや、購入先との価格交渉による低減が難しいことから、応札者が少なかったものと考えている。 |
| 落札率が高いのはなぜか。 | 応札者が少なかった原因と同様で、工事費に占める機器購入費の割合が高く、受注者の企業努力となる部分が少ないことや、購入先との価格交渉による低減が難しいことから、落札率が高くなったものである。 |
| 今後に向けて改善点はあるか。 | 本件のように工事費に占める購入機器の割合が高い工事については、量産機器の設置工事と併せて発注することや、大規模なプラント設備の更新工事等に含めて発注することなどを検討したいと考えている。 |
|  |  |
| **【堀河ダム整備（30-2）工事】** |  |
| 落札率が高いのはなぜか。 | 本件は、ダム操作室建物の老朽化に伴う屋上防水や外壁補修の工事であり、昨年9月下旬に入札公告を行ったが、同月上旬に発生した台風21号の影響により、近畿地方で防水工や足場工等の需給バランスが崩れ、建設市場の労務単価が2倍以上になったため、結果的に落札率が高くなったものである。 |
| 本件は再入札で落札決定されているが、第１回目の入札で金額が高い傾向が判明した時点で、取止めや延期の判断はできなかったのか。 | 発注時期や工期はあらかじめ定められているとともに、災害により市場価格が急に増嵩したとしても、国の基準に準じて工事費を積算しているため、その時点で取止め等の判断をすることは難しいと考えている。 |
| 今後に向けて改善点はあるか。 | 今後、同種の工事を発注する場合は、天候が安定する年度前半の早期に発注するよう検討したいと考えている。 |
| **【堺泉北港 堺3区 堺10・13・14号上屋燻蒸設備点検整備業務】** |  |
| 応札者が少なく、過去から同じ受注者であるのはなぜか。 | 本件は、船舶から荷揚げした青果物を倉庫で保管する際にガスを散布し殺菌・消毒する燻蒸設備の点検整備を行うものであるが、特殊な設備のシステムや詳細な構造、特性を十分に理解しなければ履行できないことから、現受注者以外、新たに参入する業者がなかったものと考えている。 |
| 現在の入札参加資格をどのようにして求めているのか。 | 本件を適正に履行するため、入札参加資格において同種業務の履行実績を要件としている。また、当該設備に突発的な不具合が発生した場合等、緊急時における迅速な対応を求めているため、府内に事業所を有していることを要件としている。 |
| 今後に向けて改善点はあるか。 | 入札参加資格の地域要件について、近隣府県であれば緊急時に対応が可能な場合も考えられるため、緊急時に対応できることという条件のもと、近隣府県への拡大を検討し、競争性を高めたいと考えている。 |
| **【主要地方道 岸和田牛滝山貝塚線外 産業廃棄物処理業務（単価契約）（H30・H31 岸和田土木事務所）】** |  |
| 指名競争入札で発注しているのはなぜか。 | 本件は、当事務所が管理する道路及び河川等から発生する産業廃棄物の受入れ処分のみを行う業務であり、事務所から処分場までの距離が遠くなると別途発注の運搬委託費用が嵩むため、トータルコストの削減を目的として、事務所から17㎞の範囲内に処分場を有する業者を指名して入札に付している。 |
| 他の土木事務所も本件と同様の業務を発注しているが、大阪府全体で一括発注すれば効率的になるのではないか。  　今後に向けて改善点はあるか。 | 処理業務をまとめることによって経済的なスケールメリットはあるが、道路や河川等の維持管理において緊急対応が必要な場合が多く、現場状況を把握している近隣の事務所が迅速に対応する方が、結果的に合理的であると考えている。  入札参加資格の設定を工夫するなど、契約局や他土木事務所と調整の上、一般競争入札への移行を検討したいと考えている。 |
| **【空気呼吸器用空気ボンベの購入】** |  |
| 落札率が高いのはなぜか。  　本件と関連する空気呼吸器の購入を別途発注しているが、本件と一括発注しなかったのはなぜか。 | 予定価格の算定は、見積りを徴取し安価なものを採用している。本件は製品の機種を限定していないが、市場性が低く、取扱い業者も少ないため、落札率が高くなったものと考えている。  空気呼吸器はメーカー指定であるが、本件の空気ボンベはどのメーカーの空気呼吸器とも互換性があり同等品可としているため、分割して発注することにより競争性が高められると考えていた。 |
| 今後に向けて改善点はあるか。 | 関連する複数の物品を購入する場合は、複数業者から一括の場合と分割の場合で見積りを徴取し、その結果を踏まえ、経済性及び効率性に優れた単位で発注するよう検討したいと考えている。 |